



学校だより



7月号

令和4年(2022年)
6月30日(木)

横浜市立洋光台第二小学校

日光修学旅行に行ってきました。

学校長 高島 典子

6月の24日、25日に日光修学旅行に行ってきました。6年生は、4年生・5年生の時に宿泊学習ができなかった学年だけに、出発式を行う前から児童は興奮ぎみで、修学旅行への期待の高さがうかがえました。

2台のバスに乗り込み、CDを聞いたりバスレクをしたりしながら最初の見学場所、華厳の滝に着きました。専用のエレベータで滝下に降り、寒いほどの地下道を通して初めて華厳の滝を目にした瞬間、「わあ〜」「お〜」という歓声が自然とあがりました。聞けば、滝を見たことが無いという児童もいましたので、水しぶきが飛んでくる壮大な滝を目の前にして感激し、きっと美しい景色が心に刻まれたことと思います。次は三本松でのお弁当、戦場ヶ原のハイキングと続きますが、虫にもたくさん遭遇しました。虫好きは楽しげに追いかけて、虫嫌いは逃げ惑う、そんな愉快的な光景も見られました。よく晴れ渡った空の下、男体山がよく見え、戦場ヶ原では小滝や起伏に富んだコース等でハイキングを満喫しました。

そして宿について入宿式。明るい女将さんとそのお子さんのまめ女将が迎えてくれました。この宿はコロナ対応を丁寧にしてくださり、3年目の宿泊となりました。

私が夕食会場の大広間を時間少し前に確認に行くと、80名以上の食事の用意全ての固形燃料に火が点され部屋の中は大変な暑さになっていました。支度をしていた方々はさぞや暑かったことと思います。すると中から声が聞こえてきました。「温かいお料理は、やはり温かく召し上がって欲しいですからね。」そして間もなく児童の皆がやってきて、手を消毒して会場に入りました。すると何ということでしょうか、さっきまであんなに暑かった部屋が快適な温度まで下げられ、窓もしっかりと開いていました。その間わずか数分です。「部屋は涼しく、お料理は温かく。」宿の方々のその心遣いというか、努力に心からびっくりし、改めて有難いをつくづく思いました。

そして、入浴&買い物、部屋レク、寝る準備と続きます。買い物では、何度も電卓を使って計算したり、目をつぶり、考え込んで品物を選んだりしている姿がありました。誰に何をあげるのか悩む姿がほほえましかったです。1日目は一切買い物をしない児童もいれば、ほとんどのお金を使ってしまう児童もいました。特に大変だったのは、寝る準備です。それぞれご家庭での寝具が違うのですが、「先生これ何?」「シーツです。」「シーツって何?」「・・・」「シーツってどう敷くの?」掛け布団と敷き布団がわからない、布団を三つ折りや四つ折りにするのにどうすればいいのか分からない等はざらでした。

児童の振り返りカードには、「この修学旅行で、人はそれぞれ生活ペースや行動が本当に違うということを学びました。」「初めて、滝や川、動物に興味をもて、自然が好きになりました。」「普段から仲の良い友達でも新しい一面や意外な一面を見ることができて、貴重な体験になりました。」等の感想が書かれていました。

出発式で私が話した3つの学び、「歴史に学び、自然に学び、人に学ぶ」が至るところで見られ、この体験で大きく成長した児童の皆さんを頼もしく、そして心から嬉しく思いました。